

学校教育目標 自分を発揮し、高め合う子

研究主題

みんなで「わかる・できる」楽しい授業

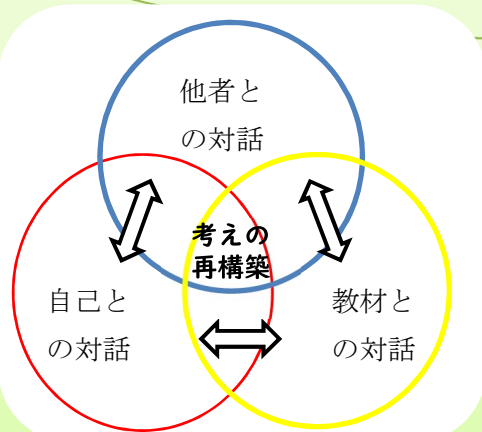
～授業のユニバーサルデザインの視点から～



Do 授業展開

①

自己・他者・教材との対話を通して、
考えを再構築する姿の実現



②

どの子ども「わかる・できる」ための仕掛け
(UDの視点から)

終末	山場	導入
・理解度を確かめる活動 ・個別支援	・学習活動の焦点化 ・思考のずれを想定した、 対話の生まれる仕掛け・発問 ・十分な時間の確保	・めあての焦点化 ・どの子どもも参加するための 視覚化・共有化 ・山場に向かう仕掛け

Check

視点①「自己・他者・教材との対話を通して、「わかる・できる」を実感していたか」
②「授業の仕掛けや発問は、「わかる・できる」姿につながっていたか」

Plan 単元構想

できるようになった
ことを自覚できる、
価値付け・振り返りの
充実

読みの系統指導表の活用

(物【作品の設定】【視点】
語【表現技法】
文【中心人物の変化】【主題】)

(説【要点・要約】【問いと答え】
明【表現方法】【三段構成】
文【要旨・意図】)

学習評価をもとにした
指導改善

Action

授業の基礎

Action

深い子ども理解 学級内ニーズ把握表
あたたかな学級づくり